



悪質な電話勧誘等による被害防止事業

「私は絶対にだまされない」と思っている、相手は巧みな話術で誘導したり、不安をあおったりして、気がつくときだまされていたということになりかねません。

消費生活センターでは、悪質な電話勧誘等による被害を防止するため、「警告メッセージ付き通話録音装置」の貸出を無償で行っています。

◎対象 市内在住の人

◎内容 通話録音装置の貸出(1か月)

※装置の設置は、ご自身でお願いします。また、装置の設置等に費用がかかる場合は、申込者の負担となります。

◎申込方法

申込先に備え付けの申込書に記入し提出(郵送またはFAXでも可)

警告メッセージ付き
通話録音装置



呼び出し音が鳴る前に「この電話は被害防止のため会話内容を録音します」というメッセージが電話をかけた側に流れます。会話を録音されると困るような業者は、このメッセージ中に電話を切ってしまいます。その場合は呼び出し音も鳴りません。仮に会話をしてその内容は録音されています。

この電話は被害防止のため、会話内容を録音します



〈問い合わせ・申込先〉〒756-8601 山陽小野田市役所 消費生活センター
(生活安全課内) ☎82-1139 FAX 83-2604



水道管の凍結対策をしましょう！

気温がマイナス4度以下(風当たりの強いところは、マイナス1~2度以下)になると水道管が凍結し、水が出なくなったり破損したりするおそれがあります。水道管や給湯機器等を点検し、十分な凍結対策をしておきましょう。

■凍結しやすい場所

- 風当たりの強い屋外にある水道管
- 北側や日陰にある水道管
- むき出しになっている水道管

■防寒の仕方

- 保温材を巻く
- ※身近なものとして毛布や布等でも代用できます。毛布等をひもで縛り、濡れないようにビニール袋をかぶせます。メーターボックスの中にも布等を詰め保温してください。

●水抜きをする

※風呂等の蛇口で水を少量ずつ流しておくことで凍結しにくくなります。

■凍結した場合

- 自然に溶けるのを待つ
- 凍った部分にタオル等をかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかける

※熱湯はかけないでください。水道管や蛇口が破損するおそれがあります。

■水道管が破損した場合

メーターボックス内にある止水栓を閉め、水道局または水道局指定給水装置工事業者に連絡してください。



メーターボックス(左:メーター 右:止水栓)▲

〈問い合わせ先〉水道局工務課 (☎81-3969)